

さいがい ひなん 災害・避難カード

～一人ひとりが避難の手順を考える～



④ 私の避難タイミング

気象情報	大雨に関する気象情報	注意報	警報に切り替える可能性が高い注意報	警報	大雨特別警報
				記録の短時間大雨情報	
警報の危険度分布		注意	警戒	非常に危険	極めて危険
水位情報		氾濫注意情報		氾濫警戒情報	氾濫危険情報(避難判断参考水位)
避難情報		レベル3 (避難に時間がかかる人は避難) 避難準備・高齢者等避難開始		レベル4 (全員避難) 避難勧告	
				避難指示(緊急)	レベル5 災害発生情報
5-1 避難準備	日中 夕暮れ時 (夜間に避難情報が発令される可能性がある場合)				

① いつまでか ② どこへ ③ だれと ④ なにを持って

災害から命を守るために、考えてみよう！

① 誰と避難する？

誰と？	連絡先は？

② 何を持って避難する？

何を？	大きさは？	重さは？
[合計]		kg

避難生活に必要なものや貴重品などを記入します。大きさまや重さから、本当に持っていけるか考えましょう。

③ 避難に必要な時間は？

A 安全な場所は？

<確認してみましょう！>
 イエローの外
 レッドの外
 浸水区域の外

B 安全な場所まで片道何分（通常時）？

徒歩なら 分 / 車なら 分

C 安全な場所まで片道何分（豪雨時）？

徒歩なら 分 / 車なら 使用不可

D 避難を決断してから家を出るまでに何分？ 分

E 要支援者を支援するのに何分？ 分

F 避難を決断してから安全な場所まで何分？

徒歩なら 分 / 車なら 分 / 豪雨時なら 分

(B+D+E) (B+D+E) (C+D+E)

ハザードマップ等を確認して、身を守るための安全な場所を記入します。

荷物を持って避難することを考慮してください。豪雨時は通常時よりさらに時間がかかります。

身支度などの時間も含めます。

一緒に避難する方の自宅に立ち寄り、支援するのにかかる時間です。

避難時間を合計し、避難開始のタイミングを決めるのに使います。

以下のタイミングや、その他の必要な内容を記入。
 1 「避難を完了する」、2 「避難を開始する」、
 3 「情報をこまめに確認する」、4 「気象情報等に関心を払う」
 ※その他の記入例：連絡網をまわす、どこから情報を得るか 等

私のまちの危険情報を知るには？

<避難情報>
 ● お住まいの市町村の避難情報を知るには？
 ⇒ [各自治体 HP](#)

<気象情報>
 ● 気象情報（注意報・警報等）を知るには？
[岐阜, 気象台](#) ⇒ [岐阜地方気象台 HP](#)

<警報の危険度分布>
 ● 洪水や土砂災害等の危険度の高まりを知るには？
[岐阜, 気象台](#) ⇒ [岐阜地方気象台 HP](#)

<水位情報>
 ● 河川の水位を知るには？
[岐阜, 川の防災情報](#) ⇒ [岐阜県川の防災情報 HP](#)
[川の水位情報](#) ⇒ [川の水位情報 HP](#)